

接続問題について, 測候時報, 46, 139-142.
 近藤純正, 1982: 大気境界層の科学, 東京堂出版, 219pp.
 ———, 桑形恒男, 1984: 東北地方多地点一斉大規模
 山林火災を誘発した 1983 年 4 月 27 日の異常乾燥強風
 (2), 天気, 31, 37-44(52).
 ———, 桑形恒男・中園信, 1991: 地域代表風速の推
 定法, 自然災害科学, 10, No. 3, 171-185.
 桑形恒男・近藤純正, 1990: 東南北部から中部地方まで
 のアメダス地点における地表面粗度の推定, 天気, 37,
 197-201.
 ———, 近藤純正, 1991: 西日本アメダス地点におけ

る地表面粗度の推定, 天気, 38, 491-494.
 田村幸雄・須田健一・松井源吾, 1984: 建物密度の永年
 変化を考慮した年最大風速の均質化, 第 8 回風工学シ
 ンポジウム論文集, 47-54.
 ———, 須田健一・松井源吾, 1989: 設計基準風速に
 ついての一考察—建物密度の経年変化を考慮した年最
 大風速の均質化—, 日本建築学会構造系論文報告集,
 400, 101-111.
 和田徳弘・大谷芳一, 1982: 測器変更に伴う風速観測値
 の検討, 研究時報, 34, No. 1, 49-53.

地球惑星関連学会合同大会のお知らせ

地球惑星関連学会のうち地震学会, 日本火山学会,
 日本測地学会, 日本地球化学会, 日本惑星科学会, 地
 球電磁気・地球惑星圏学会の 6 学会が主催する合同大
 会は, 3 回の試行を経て, 今回は 4 回目を迎えています。
 我が日本気象学会は従来通り, 関心のあるテーマ
 についてシンポジウムを共催するという形で参加しま
 す。

日時: 1993年 3 月 19 日 (金)~22 日 (月)

場所: 東京都立大学教養部

東京都八王子市南大沢 1-1 (京王相模原線南大沢
 駅から徒歩数分)

共催シンポジウム: 「生物圏から大気圏への化学物質
 の移動とその物質の大気中での振舞」

日時: 3 月 20 日 (土) 午後 1 時~5 時

内容: 座長, 深尾昌一郎・岩坂泰信

1300-1305 コンビーナからのあいさつ

1305-1330 和田英太郎 (京大・生態系センター)

現在の地球大気の組成を決めた要因:
 生物の活動

1330-1355 森山 茂 (日大・生産工学)

比較惑星学的に見た大気組成: 生物の
 役目は何か

1355-1420 松永捷司 (名大・STE 研)

硫黄の循環の歴史 —大気への影響—

1420-1445 岩坂泰信 (名大・STE 研)

成層圏エアロゾルの形成と硫黄循環:
 生物起源の硫黄の寄与はどのようなも
 のか?

1445-1510 中澤浩清 (東北大・理)

大気中の炭酸ガス I (濃度増加と人間
 活動)

1510-1535 及川武久 (筑波大・生物科学)

大気中の炭酸ガス II (生物圏の変遷)

1535-1550 休憩

1550-1615 松浦延夫 (名大・STE 研)

中層・超高層大気圏でのイオン化学過
 程と水蒸気循環

1615-1640 鶴田浩一郎 (国立宇宙研)

磁気嵐時の磁気圏の酸素の存在

1640-1650 総合討論

問い合わせ先: 木田秀次 (地球惑星関連学会連絡会担当
 委員)

気象研究所, 〒305 つくば市長峰 1-1

電話 (0298) 51-7111

Fax (0298) 55-7240